

ふちゅう 町議会だより

第177号

令和7年5月
広島県府中町議会



被爆80年の春 ～平和の尊さを胸に～

(関連記事14p)

3月定例会

令和7年度予算 過去最大の予算規模に	2～3
15人が町政を問う 一般質問	5～12
常任委員会レポート・研修会報告	13
全員協議会報告	14

YouTubeで公開中！



定例会の録画映像を
配信しています。

府中町議会【公式】

検索

※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

過去最大規模に

令和7年度予算は、一般会計が223億8603万円で、民生費の増額などにより、前年度に比べて9・8%増となりました。これは、町の当初予算規模として過去最大です。一般会計の歳入では、法人町民税の減収を見込み、町税を対前年度比1億6800万円減としました。また、町税減収の補てんや消防自動車購入、脱炭素化の取り組みなどのため、町債を対前年度比15億7100万円増としました。

区分	令和7年度
一般会計	223億8,603万円
特別会計	
土地取得	1万円
国民健康保険	43億1,244万円
介護保険	40億4,103万円
後期高齢者医療	10億505万円
合計	317億4,457万円

下水道事業 支出合計 27億1,399万円

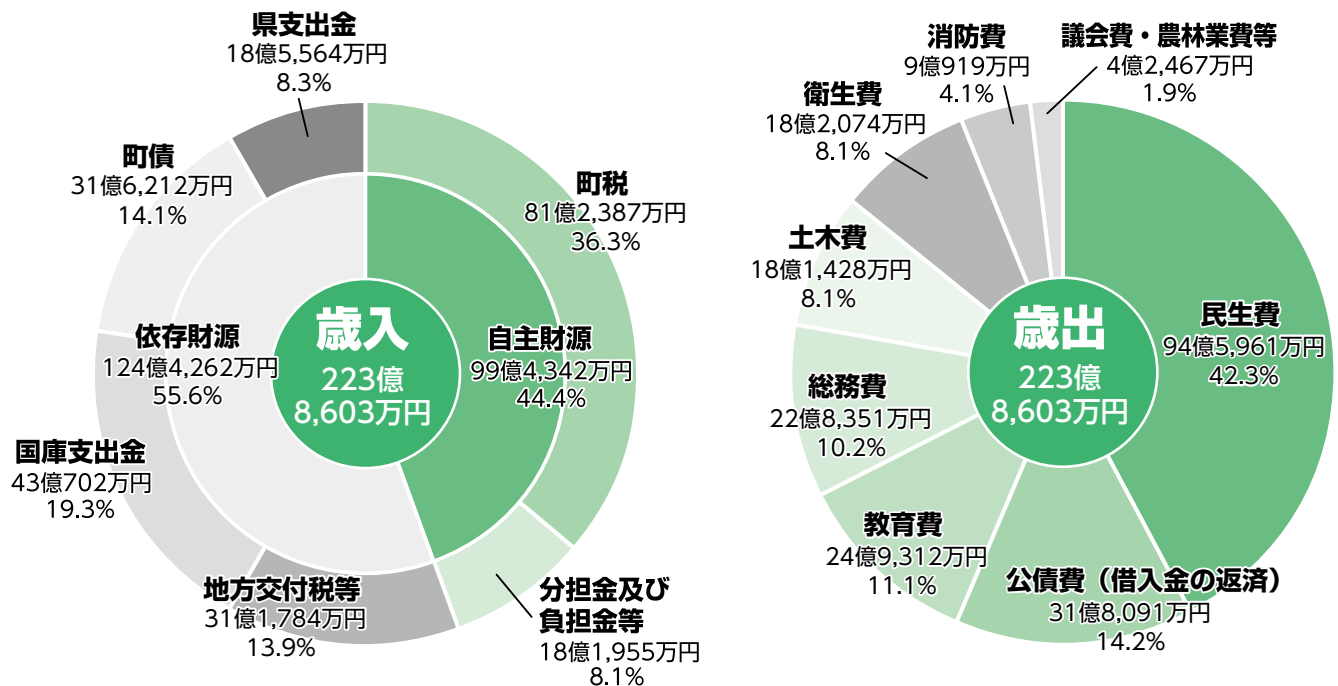
特別会計と下水道事業会計を含めた予算一覧

令和7年第1回定例会を3月10日から18日までの9日間の会期で開催し、新年度予算を含む町提出議案22件と議員提出議案1件の審議、一般質問などを行いました。

このうち、新年度予算に関連する議案は、予算特別委員会（橋井肇委員長、三宅健治副委員長）を設置して審査しました。また審議の結果、本定例会に提出された議案は全て原案どおり可決しました。

令和7年度予算案を可決 — 3月定例会 —

一般会計予算の内訳



自主財源…町が自らの権限に基づいて自主的に調達する財源 依存財源…国や県の決定に依存する財源

※ 1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

当初予算としては

令和7年度の主な事業



◆総合計画推進事業 3,361万円

令和8年度から令和17年度までのまちづくりの基本計画「第5次総合計画」を策定。

◆被爆80周年事業 132万円

◆重層的支援体制整備事業 2,831万円

障害・生活困窮・子ども・高齢といった分野に関わらず包括的な支援を実施。

◆子ども医療給付事業 2億748万円

中学生以下の医療費助成について、令和7年4月から所得制限を撤廃。

◆高齢者いきいき活動ポイント事業 5,181万円

◆学校施設の改修 3億3,376万円

緑ヶ丘中学校へのエレベーター設置工事の設計や、北小学校の屋根・外壁改修などを実施。

◆放課後児童クラブ運営事業 1億4,004万円

指導員を増員し、受け入れ体制を確保。

◆府中南公民館改築事業 5,210万円

府中南公民館建て替え工事の基本設計を実施。

◆消防自動車等購入事業 2億8,259万円

30m級のはしご自動車を更新。

◆低炭素型社会づくり推進事業 9,867万円

宅配ボックスの設置補助や電動の公用車導入、くすのきプラザ照明・街路灯LED化などを実施。

◆町内会活動応援事業 180万円

町内会の加入促進・活性化のため、補助金を創設。

◆コミュニティバス運行事業 4,759万円

◆都市計画調査事業 4,766万円

官民連携による都市公園の利用促進などを検討。

◆狭あい道路整備事業 1,958万円

事業対象区域の拡大などを検討。

◆向洋駅周辺土地区画整理事業 2億4,140万円

◆J R高架化事業地元負担金 2億5,347万円

予算審査における議会からの主な意見・要望



放課後児童クラブ運営事業については、必要とする子どもたちが利用できるとともに、快適に過ごせる環境整備に向けて、民間活用などを含めた様々な手法を検討しつつ、引き続き取り組んでほしい。



府中南公民館改築事業は、町民関心度が高い事業である。今後進める設計においては、財政的な負担に考慮しつつも、生涯学習の拠点として、活動しやすく質の高い施設となるよう整備を進めてほしい。



町内会活動応援事業については、まずは目的に沿った活用となるよう、町内会ニーズを踏まえた制度設計を進めるとともに、十分な周知に努めてほしい。また、必要とする町内会には伴走型で支援するなどの対応をしてほしい。



高齢者いきいき活動ポイント事業について、対象活動の拡大などを行い、参加者が増加していることについては評価できる。引き続き、効果的な事業となるよう、制度拡充を含めて検討してほしい。



コミュニティバス・デマンドタクシーの運行にあたっては、ルート見直しや新たな料金体系の導入など、町民からの様々な意見を取り入れながら社会情勢や交通事情の変化に対応してほしい。



都市公園PFI導入可能性調査など、調査・検討を行う業務は、費用や業務の必要性について町民理解が得られるよう、検討の経過を適宜公表するなどのきめ細やかな対応をお願いしたい。



3月定例会 採決結果

◆全会一致で可決した議案

町長提出議案
令和6年度府中町一般会計補正予算（第8号）
令和6年度府中町下水道事業会計補正予算（第2号）
令和7年度府中町一般会計予算
令和7年度府中町土地取得特別会計予算
令和7年度府中町介護保険特別会計予算
令和7年度府中町後期高齢者医療特別会計予算
府中町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
府中町職員の給与に関する条例の一部改正について
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
府中町減債基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

町長提出議案
府中町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び府中町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
府中町犯罪被害者等支援条例の制定について
府中町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について
令和6年度府中町一般会計補正予算（第9号）
人権擁護委員の候補者の推薦について
副町長選任の同意について

議員提出議案
府中町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について

◆賛否の分かれた議案

議案名	議員の賛否と採決結果																		結果
	力山	橋井	安部	森本	松本	梶川	木田	三宅	川上	西山	坂田	山口	齋藤	宮本	田中	二見	狩野	金澤	
令和7年度府中町国民健康保険特別会計予算	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
令和7年度府中町下水道事業会計予算	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
府中町手数料条例の一部改正について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
府中町国民健康保険税条例の一部改正について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
府中町工場立地法地域準則条例の制定について	議長	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
府中町下水道条例の一部改正について	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可決

町政のここが聞きたい

町行政全般に対し、15人の議員が15件の一般質問を提出し、町執行部の所信をただしました。

※一般質問とは？：定例会の本会議で、議員が町長などに対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、報告や説明を求めることをいいます。

一般 質問

P5 二見 伸吾 議員
府中町地域防災計画について

P6 宮本 彰 議員
府中町の財政状況について
森本 将文 議員
第5次総合計画におけるまちづくりの方向性は

P7 梶川 三樹夫 議員
「災害対策及び地域防災力の強化」に向けた取り組み
川上 翔一郎 議員
府中町の芸術発展にむけた取り組みについて

P8 齋藤 昇 議員
町内小学校における「置き勉」、携行品に係る配慮について
安部 智恵美 議員
学校給食費の無償化について

P9 橋井 肇 議員
認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

狩野 雄二 議員
福祉タクシー乗車券について

P10 金澤 映理子 議員
小児慢性特定疾病に伴う県外受診者への交通費助成について
三宅 健治 議員
健康寿命延伸の取り組みについて

P11 田中 伸武 議員
高齢者・障害者のデイサービス事業について
西山 優 議員
発達障害への相談体制と支援は

P12 松本 真明 議員
府中南公民館前交差点周辺の交通安全施設について
木田 圭司 議員
生活利便性向上のための狭あい道路対策の推進について

問 トイレが流れないことによるトイレパニックや、健康被害、災害関連死を防止することは重要です。
洋式トイレであれば、携帯トイレを使用でき

答 仮設トイレとして、50基のマンホールトイレを設置しています。一方、南海トラフ巨大地震が発生した場合は被災当初で72基、長期化すると180基必要です。携帯トイレは、2万6000回分を備蓄しています。

問 令和6年6月に改定された「府中町地域防災計画」における、仮設トイレの備蓄状況と南海トラフ巨大地震被災時の必要数、携帯トイレの備蓄状況は。



ふたみ しんご
二見 伸吾 議員

問 地震被災時のトイレ環境は
答 官民一体で備蓄強化を図る



災害時の安心のために
家庭備蓄が重要な携帯トイレ

問 町民全員の携帯トイレを町が備蓄すること
答 公園トイレは、今後の改修に合わせて洋式化を進めていきます。

ますが、町内公園のトイレは多目的トイレを除いて和式がほとんどです。防災の観点から、洋式化を進める考えは。

答 町では避難者が最大となる場合を想定して備蓄していますが、家庭備蓄も重要と考えます。そのため、出前講座を実施し、実物を使って周知しています。

は難しいと考えます。各家庭での備蓄に対する町の考えは。



みやもと 宮本 彰 議員

問 府中町の財政状況は

答 健全な財政運営だと考える



もりもと 森本 将文 議員

問 町南部の今後のまちづくりは

答 次期総合計画とともに検討



ふるさと納税

「府中町に納税したい」「府中町で納税したい」という気持ちから、府中町ふるさと納税制度（ふるさと納税）制度で納税していただく方が、ふるさと納税のメリットを最大限に活用することができます。

1. 「ふるさと納税」の仕組み

府中町に納税することで、ふるさと納税のメリットを最大限に活用することができます。また、ふるさと納税のメリットを最大限に活用することができます。
2. 「ふるさと納税」のメリット

ふるさと納税のメリットは、ふるさと納税のメリットを最大限に活用することができます。また、ふるさと納税のメリットを最大限に活用することができます。
3. 「ふるさと納税」のデメリット

ふるさと納税のデメリットは、ふるさと納税のデメリットを最大限に活用することができます。また、ふるさと納税のデメリットを最大限に活用することができます。
4. 「ふるさと納税」の注意点

ふるさと納税の注意点は、ふるさと納税の注意点を最大限に活用することができます。また、ふるさと納税の注意点を最大限に活用することができます。
5. 「ふるさと納税」の申し込み

ふるさと納税の申し込みは、ふるさと納税の申し込みを最大限に活用することができます。また、ふるさと納税の申し込みを最大限に活用することができます。
6. 「ふるさと納税」の納税

ふるさと納税の納税は、ふるさと納税の納税を最大限に活用することができます。また、ふるさと納税の納税を最大限に活用することができます。

ふるさと納税とは、ふるさと納税の仕組みを最大限に活用することができます。また、ふるさと納税の仕組みを最大限に活用することができます。

ふるさと納税の申し込みは、ふるさと納税の申し込みを最大限に活用することができます。また、ふるさと納税の申し込みを最大限に活用することができます。

ふるさと納税の納税は、ふるさと納税の納税を最大限に活用することができます。また、ふるさと納税の納税を最大限に活用することができます。

財源確保策のひとつ、ふるさと納税

率が高くなる要因です。

今後の見通しですが、都市基盤整備による公債費の伸びや少子高齢化により、厳しい状況が続くと予想されます。経費削減や収入増に努め、健全な財政運営に努めます。

問 ふるさと納税によって歳入を増やす方法がありますが、何か検討していますか。

答 新たな取り組みとして、ガバメントクラウドファンディング※を実施します。令和7年度は動物愛護に関する事業を登録し、その効果を検証します。

※集まった寄附金を何に活用するのか使い道を明確にし、使い道に共感し、活動を応援したいと思う方から寄附を募るしくみ。



鉄道高架化により生じる高架下の有効活用を（写真はイメージ）

問 令和8年度からの第5次総合計画において、町南部では、府中南公民館の改築をはじめ、周辺地区一帯のまちづくりが大きく進む予定です。

減災、地域コミュニティなど幅広い視点で、「利活用のテーマ」と「それをどこのエリアで実現したいのか」を早期に定めておくことが必要です。

答 まちづくりについては第5次総合計画を策定する中で検討をしていきます。高架下などの公共空間の有効活用については、鉄道事業者などとの調整が発生するため、町として行政ニーズを把握しておくことが必須となります。

検討には、部署横断的な調整が必要であることから、第5次総合計画策定体制として、計画の基本目標ごとに立ち上げる専門部会の中で今後検討していくことが想定されます。また、町南部のまちづくりに特化した専門部会を別に立ち上げ、取り組んでいくことも必要ではないかと考えています。

問 70〜80%台が望ましいとされている経常収支比率ですが、当町は96%でした（令和5年度）。改善に向けた対策と今後の見通しは。

答 特に大きな問題はなく財政運営は健全だと考えています。町は、従来から街路、公園、

公共下水道、学校施設等を整備してきました。また、福祉事務所の設置や全ての小中学校における自校調理方式での学校給食の実施、教育支援員の配置やスクールカウンセラーの独自配置など、住民に寄り添った行政運営を行っています。以上が、経常収支比



かじかわ みきお 議員
梶川 三樹夫

問 防災力強化の取り組みは

答 町民・地域と関係を深める



問 近年、大規模地震への警戒が高まり、地震以外の自然災害の心配も多くなっています。令和4年9月議会で質問した災害対策および地域防災力の強化について、その後の取り組みとして、ハザードマップの作成状況と利用状況を伺います。

答 ハザードマップは「WEBハザードマップ」として、パソコンやスマホで簡単に確認できるようにしました。現在、年間のアクセス数は約2万件です。

問 防災リーダー育成の現状は。

答 資格試験受験料の補助など、引き続き防災士の資格取得を進めて



学校や地域で進める「防災出前講座」

問 防災備蓄倉庫の整備と備蓄の状況は。

答 分散型備蓄倉庫を小中学校など11か所に整備しました。備蓄品も、令和7年度に目標達成する見込みです。

います。また、防災士を対象とした研修会を毎年実施しています。

問 町民向け講習会等の進捗状況は。

答 令和6年度は、防災出前講座を37回開催しました。今後もこうした取り組みを通じて、町民・地域との関係を深め、地域防災力の強化に努めます。



かわかみ しょういちろう 議員
川上 翔一郎

問 芸術発展への取り組みは

答 発表機会を提供し活動支援



問 芸術は子どもから大人まで楽しめ、多くのメリットがあると考えます。芸術作品を見ることで、子どもは色や形、音や質感を感じ取り、感受性が向上し周囲の世界への理解が深まります。また、芸術作品についての話し合いを通じて、コミュニケーションを図る機会が増えます。

様々なメリットがあるなかで、今後、芸術を発展させていくために、町が考えていることを伺います。

答 町での芸術に関する取り組みはさまざまですが、まず、公民館で多くの団体が自主的な活動を行っています。その活動の成果を、毎年「公民館まつり」

で展示・発表することで、地域の芸術発展を支援しています。また、「あきふちゅう文化協会」は、舞台発表会や文芸祭を毎年開催し、自主活動の成果を披露しています。町はその活動に対して支援を行っています。そのほか、文化振興

事業や郷土芸能への補助金交付、小学校での芸術鑑賞事業などを実施しています。町は、第4次総合計画に「芸術・文化の普及・振興」を掲げ、これまで取り組んできました。次期総合計画においても引き続き取り組んでいく考えです。



自主的な活動の成果を披露し、地域に還元



通学時の負担や危険を減らす配慮が重要

問 置き勉とは、家庭学習で使用する予定のない教材等を学校に置いておくことで、通学時の子どもたちの負担や危険が減り、忘れ物を減らせるというメリットがあります。

答 各学校や学年により取り決めが異なりますが、実技教科の教科書やリコーダー、習字道具などは、基本的に学校に置いたままにしています。国語と算数については、宿題もある

校で保管する場合の方法は。

問 置き勉への対応は

答 実技教科等は学校で保管



さいとうのぼる 議員

問 学校給食費の無償化は

答 全国一律の制度化を要望



あべちえみ 議員



すべての子どもが安心して食べられるしくみへ

問 給食費の無償化は、

国会でも論点となっており、検討が進められています。令和5年9月時点で全国の約3割の自治体が、小中学生の全員を対象に学校給食費の無償化を実施しています。

答 一部の学年に限定したりして実施している事例もあります。完全無償化が難しければ、段階的に無償化するという手段もあると思いますが、町の見解は。

が、現時点で一般財源での完全無償化を行う予定はありません。また、段階的な無償化も予定していません。

これは、無償化の必要がないと考えているわけではなく、給食費無償化は国で進めるべきと考えているからです。報道によると、国は令和8年度に小学校の給食費無償化を実現し、その後中学校への拡大についても実現していくとしています。

町としては、学校給食費の無償化が、地域間格差のない全国一律の制度となるよう、国や県へ具体的な要望を行うなど、働きかけをしています。今後、国の動向を注視しつつ、国・県への要望を続けていきます。



はしめ 肇 議員
橋井

問 認知症理解への取り組みは

答 サポーター養成などを実施



問 高齢化の進展により、認知症の人が増えていきます。令和6年に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、認知症の人や家族が安心して暮らせる社会の実現に向けた様々な取り組みが期待されています。町は、身近な行政機関として、まずは認知症に関する知識や認知症の人に関する理解を深める取り組みを強化すべきと考えますが、町の見解を伺います。

答 令和7年2月末現在、町内の介護認定者のうち、62%の人に日常生活に支障をきたす認知機能の低下があります。認知症高齢者対策の推進は、「第9期介護保険事業計画」において



幅広い年齢層を対象に進める「サポーター養成講座」

でも重点施策に位置づけており、積極的に取り組んでいます。

具体的な取り組みの一例として、「認知症サポーター養成」があります。幅広い年齢層の住民や地元企業の従業員などへ認知症サポーター養成講座を行い、これまで3870人の参加がありました。

また、認知症サポーターがチームを組み、生活支援につなげる「チームオレンジ」の体制づくりも進めています。

認知症の人が自分らしく暮らし続けられるよう、認知症に関する周知啓発と予防事業に引き続き取り組めます。



かの ゆうじ 議員
狩野

問 人工透析者のタクシー助成は

答 助成券の追加交付を検討



問 町が障害者支援として実施している福祉タクシー乗車券の交付対象者数と交付実績、利用実績は。

答 令和5年度では、交付対象者804人に対して交付実績は611人です。福祉タクシー乗車券は1年に48枚を限度に交付しており、交付枚数に対する利用率は57%でした。

問 人工透析を受ける人は、週に3回通院する必要があります。そのため、県内の他市町では、福祉タクシー乗車券を追加交付している事例もあります。町内の人工透析者の人数と、人工透析者に乗車券を追加交付する考えは。

答 令和6年3月末時点で97人が人工透析治療を受けています。現在の制度では、人工透析の必要がある腎疾患の場合、障害等級1級の身体障害者手帳の交付を受けている場合のみ、福祉タクシー乗車券の交付対象ですが、しかし、人工透析治療を受ける人の通院頻度も踏まえると、これまでの制度とは別の助成も検討する必要があります。適正な医療受診が確保できるよう、財政面の課題も精査しつつ、他自治体の実施状況を参考にしながら、検討を進めていきます。

令和6年3月末時点で97人が人工透析治療を受けています。現在の制度では、人工透析の必要がある腎疾患の場合、障害等級1級の身体障害者手帳の交付を受けている場合のみ、福祉タクシー乗車券の交付対象ですが、しかし、人工透析治療を受ける人の通院頻度も踏まえると、これまでの制度とは別の助成も検討する必要があります。適正な医療受診が確保できるよう、財政面の課題も精査しつつ、他自治体の実施状況を参考にしながら、検討を進めていきます。



年間48枚交付されている、福祉タクシー乗車券



かなざわ えりこ
金澤 映理子 議員

問 小児慢性特定疾病の支援は

答 寄り添った支援を検討する



専門的な治療を安心して受けられる支援が重要

問 小児慢性特定疾病とは、18歳未満の児童がかかる、がんや慢性心疾患、糖尿病などの慢性的疾患です。

現在、小児慢性特定疾病の医療費については、自己負担を一部助成する制度があります。が、近隣市町では、医療費助成のほかに県外

医療機関で専門的治療や検査を受ける場合に交通費を助成している例があります。最善の治療が受けられるよう、本人と家族の負担を少しでも減らす支援が必要と考えますが、交通費助成に対する見解は。

答 小児慢性特定疾病児

童等に対する医療費助成は、県全体の支援制度として広島県が実施しています。

一方、交通費助成については、県内では4市町が導入しており、小児慢性特定疾病の治療で県外受診する場合に、本人と同伴者が通院するための交通費を一部助成しています。

町としては、適切な医療を受けるために県外受診が必要な場合があることは認識しており、今後、診療科の細分化や医師の専門化が進むことで、県外受診の機会が増え、交通費助成の必要性が高まると考えています。

今後、他自治体の状況を参考に、対象者に寄り添う支援ができるよう取り組みます。



みやけ けんじ
三宅 健治 議員

問 健康寿命延伸の取り組みは

答 民間スポーツ施設等を活用



問 高齢者が健康で活動的な生活を送ることは、個人の満足感や幸福感を高めるだけでなく、高齢者の社会貢献による社会全体の活力維持につながります。町における健康寿命の現状と評価は。

答 国や県の平均と比較

して、町の健康寿命は男性で2年、女性で1年程度上回っています。これは、健康増進・食育推進事業や各種健診事業、高齢者向け介護予防事業の成果だと評価しています。

問 「府中町健康づくり計画」の策定経緯は。

答 これまで個別計画であった健康増進計画、食育推進計画、自殺対策行動計画には、これらの健康など共通項目が多いことから一体化し、健康づくりの総合的な指針となる計画として令和6年度に策定しました。

問 令和7年度の主な取り組みは。

答 健康増進事業として、民間運動施設を活用した事業などを継続実施します。

特に民間スポーツジム施設を活用した成人向け健康増進事業は、参加者の77%が事業終了後も運動を続けており、事業効果が大きいと考えています。



いきいきと健康な生活を送るための
対策を一体的に進める



たなか のぶたけ
田中 伸武 議員

問 社協のデイサービス撤退は

答 新たな福祉事業展開を協議



問 府中町社会福祉協議会が高齢者・障害者・デ
イサービス事業からの
撤退を計画しています。
撤退理由は、指定管
理する町有施設の設備
老朽化とされています
が、町と社会福祉協
会との事前調整の状
況や設備の更新責任は。

答 撤退理由となってい
る設備については、民
間事業用として使用さ
れている設備であるこ
とから、町で更新する
考えはありません。ま
た、施設の指定管理者
である社会福祉協議会
から、協定に基づく設
備更新・補修の協議や
要望はありませんでし
た。



府中町社会福祉協議会が指定管理する
マエダハウジング府中町ふれあい福祉センター

地域福祉サービスのあ
り方の整理をしてほし
いと要望しています。

問 地域福祉の拠点であ る社会福祉協議会を支 える町の責任と役割は。

答 収入が発生しない事
業に必要な経費などに
ついては、補助金を交
付しています。また、

運営にあたり行政的な
知見を取り入れるため
町の管理職職員1名を
出向させています。
町としては、福祉の
減退につながることに
ないよう、社会福祉協
議会と新たな事業展開
を協議しながら、必要
な福祉サービスのあり
方を検討していきます。



にしやま まさひろ
西山 優 議員

問 発達障害への対応は

答 適切な療育へつなぐ

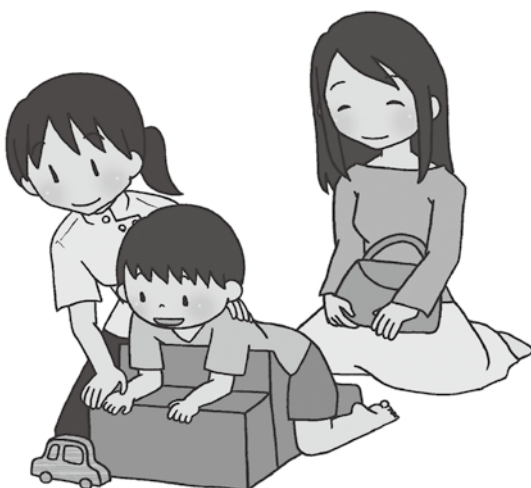


問 発達障害は、親が子
どもの発達に違和感を
覚えたり、乳児健診で
判明したりすることが
多く、また大人になっ
てから診断されるケー
スも増えています。
一人ひとりの特性に
応じた配慮や支援が重
要と考えます。子ども
の特性や心配ごとにつ
いて家族が早期に相談
でき、スムーズな支援
へつなげていくため、
町としての対応につ
いて伺います。

答 町では発達に関す
る早期支援として、1歳
半健診や3歳児健診時
に保健師が発達状況を
確認し、心配ごとなを
たずね、保護者の希望や
必要に応じて、幼児教
室や個別の発達相談に
つなげています。

幼児教室や個別の発
達相談は、町内の幼児
発達支援センターに委
託しています。町の保
健師も同席し、幼児発
達支援センター職員に
よる、発達や特性の確
認、療育指導をし、必
要な場合には、外来や
通所での療育を案内し、
必要な支援につなげま
す。

また、幼児教室など
の利用希望がなかった
場合は、数か月後に保
健師から電話で発達状
況や不安な点について
確認しています。
早めに障害に気づき、
適切な療育につなぐこ
とで社会に適應する能
力が身につくよう、今
後も支援していきます。



一人ひとりの特性に応じて支援する



まつもと まさあき 議員
松本 真明

問 南公民館付近の安全対策は

答 路面標示などで対応



問 県道浜田仁保線の、府中南公民館から向洋駅北口付近までの区間が1月21日に開通しました。

この区間は将来的にも広島市東部地区連立体交差事業の完了時には更なる交通量の増加が予想されます。府中南公民館付近の町道



今後も交通量に応じた安全対策が求められる
(府中南公民館前交差点)

答 町はこれまでに広島

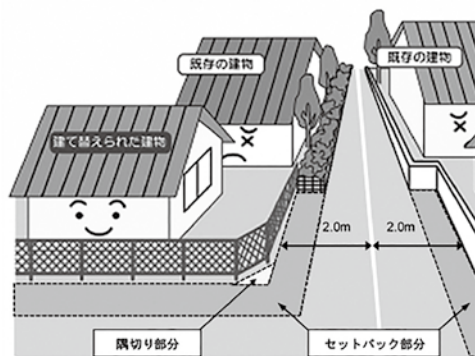
との交差点には信号機がなく、現状のままでは接触事故などが起きることが危惧されます。今のところ信号機の設置予定はないとのことですが、府中町が設置できる路面標示等についてはどうなっていますか。

県、広島東警察署と協議し、通行車両に対し、路面標示等により注意喚起を行うとともに、歩行者の安全確保のため、周辺の横断歩道に青いカラー舗装をしています。

さらに、県道の開通後は、県と府中町で区画線や路面標示、グリーンベルトを設置することとし、町道内には新たに「交差点注意」の路面標示を設置しました。

答 国が平成15年に公表

した重点密集市街地※に本町三丁目地区が含まれていたことから、避難所までの経路を確保するため、モデル地区としました。平成24年から現在までに合計18件を実施し、約47メートルの狭あい道路を拡幅しました。



狭あいな道路解消による
安心、安全なまちづくり

現在、本町三丁目をモデル地区とした、狭あい道路整備事業が進められています。他地区でも道路の拡幅を望む声があります。モデル地区指定の背景と事業実績は。

問 幅員が4メートルに

満たない狭あい道路は、災害時の消防活動や救急活動、避難の妨げになり、その拡幅整備は重要な課題です。

問 現在までの効果と課題は。

答 消防車や救急車など緊急車両の通行が可能となり、平成30年の西日本豪雨災害の時は、土砂撤去などを迅速に行うことができました。

建物の建て替え時の整備であることから町道の路線全体が4メートルとなるには長い年

月がかかることが課題です。補助街路整備事業や道路新設改良事業もあわせて推進し、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。

※地震の時に大規模火災の可能性がある密集市街地、平成24年に基準が見直され、それ以降の重点密集市街地に府中町は含まれていない。



きだ けいじ 議員
木田 圭司

問 狭あい道路の整備は

答 他事業とあわせて推進





委員会レポート

3つの常任委員会（総務文教・厚生・建設消防）の活動状況を報告します。

総務文教委員会

町内小中学校の生徒名簿の取り扱いなどについて報告

◆第1回委員会（2月25日開催）

●中学校部活動での生徒の活躍状況や、令和7年二十歳のつどいの開催結果、町内小中学校の卒業式と入学式について報告。

●令和7年4月以降、各小中学校で使用する名簿を、男女混合で統一することを報告。

問 各学校におけるこれまでの名簿の状況は。

答 府中中学校のみ男女混合の名簿で、その他の学校は男女別の名簿を使用していた。

◆行政視察（1月23日・24日）

●府中町第5次総合計画策定に向け、先進事例を視察。

大阪府泉南市

「第6次泉南市総合計画について」

兵庫県福崎町

「福崎町第6次総合計画について」



厚生委員会

こども計画・健康づくり計画案について報告

◆第1回委員会（1月28日開催）

●府中町こども計画（案）について報告。

●府中町健康づくり計画（案）について報告。

問 健康づくり計画の期間を12年とした理由は。

答 県の計画にあわせたもの。

◆第2回委員会（2月26日開催）

●下水道工事1件の工事請負契約の締結について報告。

●下水道工事1件の工事請負変更契約の締結について報告。

◆行政視察（1月14日・15日）

●高齢者が健康に暮らすための取り組みなどについて、先進事例を視察。

愛知県大府市

「高齢者の外出支援の取り組みについて」

兵庫県尼崎市

「尼崎ヘルスアップ戦略事業について」



建設消防委員会

工事請負契約の締結などについて報告

◆第1回委員会（2月27日開催）

●山越広場土砂撤去工事の工事請負契約の締結について報告。

問 土砂撤去を行う理由は。

答 大規模盛土の調査により、対策が必要となったため。土砂の撤去により地震による活動崩落を防止する。

●工事請負変更契約8件の締結について報告。

◆行政視察（1月30日・31日）

●連続立体交差事業と連携したまちづくりの手法について、先進事例を視察。

大阪府泉大津市

「連続立体交差と連携したまちづくりについて」

京都府京都市

「桂・洛西口駅間プロジェクト（官民連携による高架下の利活用について）」



議員研修会報告 ～広島県町議会議長会が主催する研修会に参加しました～

◆広島県町議会議員研修会（2月20日）

【講師】

地方議員研究会 統括コンサルタント 川本 達志 氏

【講演内容】

・一般質問を通じて政策実現をしていくために、押さえるべきポイントや、質問するために必要な情報の収集方法などを解説。



◆町議会広報紙クリニック（1月22日）

【講師】

時事通信社解説委員 小林 伸年 氏
写真家 大藤 哲己 氏

【講演内容】

・各町議会が発行した広報紙の添削と、紙面作成時の注意点などを解説。
・各町議会の広報紙の表紙写真について、写真の構図やトリミング（切り出し）方法、被写体の表情や場面の選び方などを解説。

議会の動き

1月

- 10日 議会報特別委員会
- 14日～15日 厚生委員会行政視察
- 16日 大竹市議会行政視察受入
- 22日 議会広報紙クリニック
- 23日～24日 総務文教委員会行政視察
- 28日 厚生委員会
- 30日～31日 建設消防委員会行政視察

2月

- 5日 議会運営委員会
- 6日 鴻巣市議会行政視察受入
- 10日 全員協議会
- 20日 広島県町議会議長会議員研修会
- 25日 総務文教委員会
- 26日 厚生委員会
- 27日 建設消防委員会

3月

- 6日 議会運営委員会
- 7日 議会報特別委員会
- 10日～18日 3月定例会
- 11日～17日 予算特別委員会
- 18日 議会報特別委員会
- 26日 全員協議会
- 28日 議会報特別委員会

全員協議会報告

「府中南公民館は現在地で建て替え」

2月10日に全員協議会を開催し、府中南公民館の建て替えに関する検討内容や下水道使用料改定に関する検証結果などについて説明を受けました。

府中南公民館の建て替え

複数の候補地を比較検討した結果、施設効率や

利便性がより高い現在地で建て替えを行う。

リニューアルオープン

の予定は令和11年度。

音楽ホールの考えは、大規模なものとは想定

しておらず、ミニコンサートが可能なるホールを検討中。

下水道使用料の引き上げ

収入不足が続く下水道使用料の在り方について、審議会を設置して検証した結果、令和8年4月から使用料を平均16%改定。

◆その他の議題

●府中町国民健康保険税の改正

●府中町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

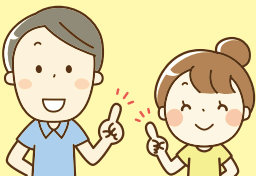
表紙の紹介



原爆の碑は、40年前、核兵器廃絶と恒久平和の思いを込めて建立されました。核兵器禁止条約や日本被団協のノーベル平和賞受賞という核兵器廃絶へ向けた前進がある一方、ウクライナやイスラエルでは戦争が続いています。碑に込められた二つの思いが花開く、被爆80年になりますように。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は6月下旬の予定です。



事前申し込みは不要です。
ぜひ、お気軽にお越しください。

編集後記

毎日の寒暖差や、黄砂に悩まされるなど、何かと体調の管理が難しい日々が続いていますが、桜、町の花「椿」と、たくさんの方々春の府中町を彩りました。古くから町内の神社や寺院の境内に自生し、町民に親しまれていた椿。

花言葉には「誇り」「控えめな優しさ」などがあります。

入園、入学、入社、あるいは転職などで、この春に新生活を始めた皆さんが、昨日と違う自分を発見しながら、椿の花のように凛として、自分らしく、明るく元気な毎日を過ごしていただくことを願っています。

(安部 智恵美)